

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 3 部門第 3 区分

【発行日】 平成 18 年 11 月 16 日 (2006.11.16)

【公表番号】 特表 2006-503145 (P2006-503145A)

【公表日】 平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【年通号数】 公開・登録公報 2006-004

【出願番号】 特願 2004-544293 (P2004-544293)

【国際特許分類】

C 0 8 G 8/28 (2006.01)

C 0 8 F 8/34 (2006.01)

C 0 8 F 12/24 (2006.01)

C 0 8 F 20/30 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/038 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 8/28 B

C 0 8 F 8/34

C 0 8 F 12/24

C 0 8 F 20/30

G 0 3 F 7/00 5 0 3

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 3 F 7/038

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 9 月 25 日 (2006.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フェノール系単量体単位のフェニル基が構造 $-S-(L)_k-Q$ [式中、S はフェニル基の炭素原子に共有結合されており、L は連結基であり、k は 0 または 1 でありそして Q は複素環式基を含んでなる] を有する基により置換されているフェノール系単量体単位を含んでなる重合体。

【請求項 2】

該複素環式基が芳香族性である請求項 1 に記載の重合体。

【請求項 3】

該複素環式基が複素環式基の環内に少なくとも 1 個の窒素原子を含有する請求項 1 または 2 に記載の重合体。

【請求項 4】

該複素環式基が場合により別の環系と縮合されていてもよい 5 員または 6 員の環構造を有する請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の重合体。

【請求項 5】

複素環式基が場合により置換されていてもよいテトラゾール、トリアゾール、チアジアゾール、オキサジアゾール、イミダゾール、ベンズイミダゾール、チアゾール、ベンズチアゾール、オキサゾール、ベンゾキサゾール、ピラゾール、ピロール、ピリミジン、ピラ

シン、ピリダシン、トリアジンまたはピリジン基から選択される請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の重合体。